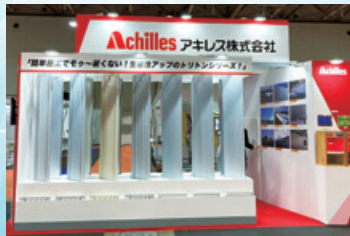




# 第104期 報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

## Dear FUTURE



証券コード：5142

### トップメッセージ Top Message

株主の皆様には平素は格別のご支援を賜り深く感謝申し上げます。ここに当社グループの第104期の報告書をお届けいたします。

当連結会計年度における経済状況は、新型コロナウイルス感染症の影響が軽減し、回復の動きが見られましたが、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格・エネルギーコストの上昇や世界的なインフレ進行などもあり、先行き不透明な状況が継続しました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には、省エネルギー関連製品、環境対応製品、防災関連製品、生活関連製品、インフラ整備関連製品などの重点分野、およびグローバル化へ積極的な事業展開を推進するとともに、継続してコストダウンおよび省エネルギー・廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、価格改定を含め、売上高78,607百万円（前期比5.2%減）となりました。営業損益は、原材料価格・エネルギーコストの上昇や円安による仕入れコスト上昇の影響等への対応として、生産性の向上や経費削減に努めましたが、958百万円の営業損失（前期は713百万円の営業損失）となりました。経常損益は、為替差益や持分法による投資損益の計上がありましたが、171百万円の経常損失（前期は117百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する当期純損益は、車輻資材、ウレタン、断熱資材で減損損失を計上したことや、繰延税金資産の取り崩しを行ったことにより、8,210百万円の親会社株主に帰属する当期純損失（前期は1,204百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

今後、世界・日本における生産や消費の大きな変化に対応し、持続的な成長を遂げるため、当社グループが保有する技術と経営資源を最大限に活かし、積極的・効率的な展開を図ることにより「企業に社会に未来に、新たな価値を創り続けていくこと」で『人と環境にやさしく快適な生活空間を創造する企業』を目指してまいります。

なお、当社は、当連結会計年度において営業損失の計上、固定資産の減損損失の計上および繰延税金資産の取り崩しに伴う当期純損失を計上しました。これは、車輻資材、ウレタン、断熱資材に係る各資産グループにおいて、価格改定を推進したものの、原材料・エネルギーコストの高止まりや市場環境の変化等による収益性の低下が見込まれ、短期的な回復は難しいとの判断により減損損失を計上するとともに、繰延税金資産を取り崩したものです。

このような状況下、喫緊の課題である足元の業績における収益性悪化の改善を図るべく、当社グループのさらなる生産性向上（コストダウン）に、より一層強力に取り組むとともに、一部製品については価格改定を推進してまいります。加えて、既存事業における付加価値率向上および業務の効率性向上、新規事業創出の推進により、利益を生み出す構造に変革し、早期に収益性の改善を図ります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

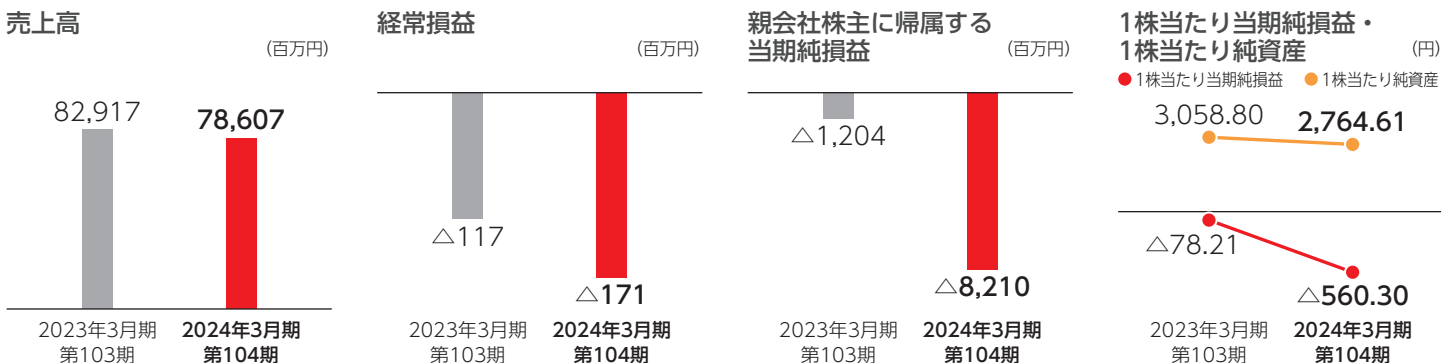


代表取締役社長

日景一郎

2024年6月

### 連結財務ハイライト Financial Highlights



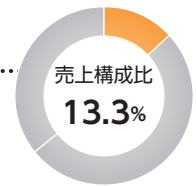
より詳しくは、当社ホームページをご覧ください。  
https://www.achilles.jp/ir/





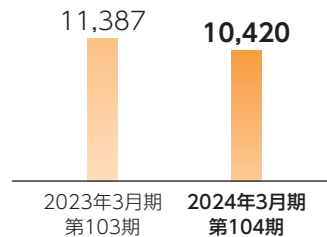
### シューズ事業

- 売上高 **10,420**百万円 (前期比 **8.5%**減)
- セグメント損益 **△841**百万円 (前期は **△971**百万円)

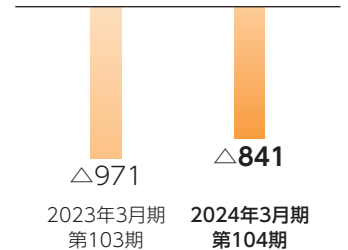


- ・世界有数のランニングシューズブランド「BROOKS (ブルックス)」が好調に推移したが、その他の商品群の回復が遅れ減収。
- ・セグメント損益は、価格改定の効果を含む利益率の改善や販売費の削減等により損失減少。

売上高推移 (百万円)

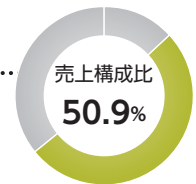


セグメント損益推移 (百万円)



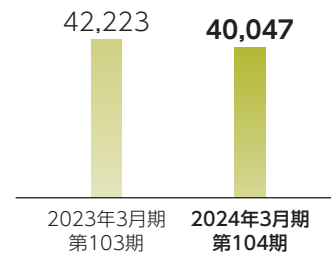
### プラスチック事業

- 売上高 **40,047**百万円 (前期比 **5.2%**減)
- セグメント損益 **991**百万円 (前期比 **49.2%**減)

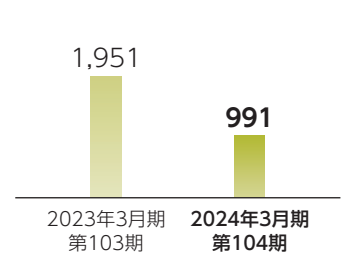


- ・車輦内装用資材は、中国市場で苦戦するも、国内および北米市場では自動車メーカーの生産回復により好調に推移。なお、将来の損益計画の見積もりにおいて、収益性の低下が見込まれ、短期的な回復は難しいとの判断により、固定資産の減損損失を計上。
- ・フィルムは、国内外の流通在庫調整によりエレクトロニクス分野、医療・医薬分野が大きく低迷したほか、長引く欧州の景気低迷によりエクステリア用フィルムも伸び悩み、低調に推移。
- ・建装資材は、床材が大型物件の受注やホームセンタールートの拡販により好調だったが、壁材が市況悪化の影響を受けて伸び悩み、全体では低調に推移。
- ・防災対策商品は、国内向けレスキューボートは好調だったが、防災用エアータントおよび米国向けボートが苦戦し、低調に推移。
- ・プラスチック事業全体では、価格改定に取り組むもフィルム的大幅減収による粗利減の影響等により減収減益。

売上高推移 (百万円)

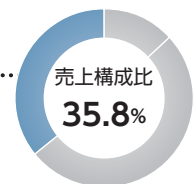


セグメント損益推移 (百万円)



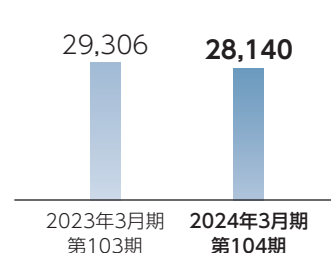
### 産業資材事業

- 売上高 **28,140**百万円 (前期比 **4.0%**減)
- セグメント損益 **1,420**百万円 (前期比 **59.8%**増)

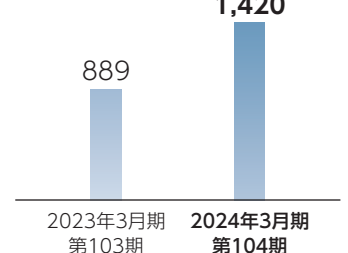


- ・ウレタンは、日用雑貨品や寝具向けの伸び悩みにより、低調に推移。なお、将来の損益計画の見積もりにおいて、収益性の低下が見込まれ、短期的な回復は難しいとの判断により、固定資産の減損損失を計上。
- ・断熱資材は、ボード製品は非住宅、戸建て向けとも好調に推移するも、パネル製品、システム製品、スチレン製品が苦戦し、全体では低調に推移。なお、将来の損益計画の見積もりにおいて、収益性の低下が見込まれ、短期的な回復は難しいとの判断により、固定資産の減損損失を計上。
- ・工業資材は、半導体ウエハー搬送用部材が国内、海外向けともに低調に推移。
- ・産業資材事業全体では、価格改定の効果を含む利益率の改善等により減収増益。

売上高推移 (百万円)



セグメント損益推移 (百万円)



### 「東京マラソンEXPO 2024」出展

2024年2月29日から3月2日にかけて東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された「東京マラソンEXPO 2024」(来場者数:67,139名)に、当社は日本国内の総販売代理店を務める米国ランニングシューズブランド「BROOKS(ブルックス)」のブースを出展しました。

最新のレーシングシューズ「HYPERION ELITE4(ハイペリオン エリート4)」を中心にシューズの展示、販売をしたほか、ブランドの契約選手であるブダペスト2023世界陸上1500mチャンピオンのジョシュ・カー選手、楠康成選手(AMI AC SHARKS)やブランド初の箱根駅伝出走者となった新山舜心選手(駿河台大学(当時))らの特大ビジュアルの展示を行い、多くの方々にお越しいただきました。今後も日本におけるブランドの認知度向上に取り組み、拡販に努めてまいります。



HYPERION ELITE4



接客中の様子



「BROOKS」のブース外観

### 土壌消毒用生分解性マルチフィルム「ビオフィレックスマルチGM」発売

2024年3月、こんにゃく芋栽培向けに開発した土壌消毒用生分解性マルチフィルム「ビオフィレックスマルチGM」を発売しました。

こんにゃく芋は病気に弱く植え付け前の土壌消毒が不可欠であり、消毒に相当量のポリエチレンフィルムを使用することから、こんにゃく芋の名産地である群馬県では膨大な廃プラスチックの発生が課題となっていました。産地の要請を受け、当社は既製品の生分解期間を改良した本製品を開発。土壌消毒終了後の施肥作業と同時に働き込むだけで、土中の微生物によりフィルムが水とCO<sub>2</sub>に分解されるため、省力化に大きく貢献するほか、廃プラスチック処理にかかるCO<sub>2</sub>排出量の削減につながります。

今後も当社の研究開発で培った技術を活用し、需要者のニーズに合わせた環境配慮型製品の開発を積極的に進めてまいります。



生分解性  
プラマーク



(上) 展張された「ビオフィレックスマルチGM」  
(下) 展張中の様子

### 滋賀第二工場にウレタンフォーム新生産ラインを増設

当社滋賀第二工場(滋賀県豊郷町)に環境負荷低減に配慮した軟質ポリウレタンフォームの新生産ラインを増設し、2024年2月より稼働を開始しました。

当社は、SDGsの実現に向けた取り組みとして、発泡剤にリサイクル液化炭酸ガスを使用してCO<sub>2</sub>やVOC\*の排出量削減を実現した環境対応ウレタンフォーム「CRIIN FOAM®(クリーンフォーム)」などの製品を開発、展開してきました。今回増設した新生産ラインもリサイクル液化炭酸ガスなどを発泡剤に使用しており、また本ラインの稼働により滋賀第二工場におけるVOCの使用量を削減できます。新生産ラインの増設を活かして、「CRIIN FOAM®」の全国展開を図り、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

\*VOC: PRTR法や大気汚染防止法で大気中への排出が規制され、ウレタンフォーム業界が自主規制物質として削減に取り組んでいる揮発性有機化合物の総称



新生産ラインの竣工式・試運転式の様子

# 会社概要 / 株式の状況 Corporate Data/Stock Information

## ● 会社概要 (2024年3月31日現在)

社名	アキレス株式会社	営業所	北海道営業所 / 九州営業所
設立	1947年5月	工場	足利第一工場 / 足利第二工場 滋賀第一工場 / 滋賀第二工場 美唄工場 / 九州工場
資本金	14,640,795,671円	連結対象子会社	ACHILLES USA, INC. 阿基里斯(上海) 国際貿易有限公司 アキレスコアテック株式会社 関東アキレスエアロン株式会社 大阪アキレスエアロン株式会社 その他13社
従業員数	1,256名		
本社	〒169-8885 東京都新宿区北新宿二丁目21番1号 新宿フロントタワー		
関西支社	〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目2番7号 中之島セントラルタワー23階		

## ● 役員 (2024年6月27日現在)

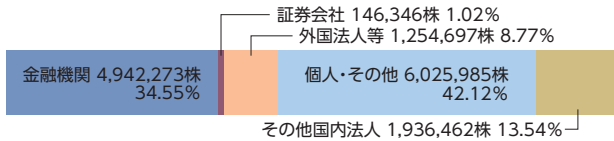
代表取締役社長	日景一郎	(営業部門統轄)
取締役会長	藤山浩樹	(製造部門統轄)
常務取締役	伊横浩和	(管理部門統轄兼CSR担当兼経理本部長)
常務取締役	河野和晃	(プラスチック部門担当兼中国担当)
取締役	大柳孝達	(営業部門統轄補佐兼シューズ部門担当兼資材部門担当)
取締役	大柳孝達	(北米担当兼化成製品事業部長)
取締役	越智久生	(製造部門統轄補佐兼生産革新担当兼品質保証本部長)
取締役	川島英一	
取締役	佐藤野	
取締役(常勤監査等委員)	山田茂	
取締役(常勤監査等委員)	須藤幸子	
取締役(監査等委員)	須藤智	
取締役(監査等委員)	笠原智恵	
取締役(監査等委員)	松岡一	

注記 取締役佐藤修氏、館野均氏、須藤昌子氏、笠原智恵氏および松岡一氏は、社外取締役であります。

## ● 株式の総数等 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	15,362,714株
株主数	10,944名

## ● 株式分布状況 (2024年3月31日現在)



注記 上記のほか、当社保有の自己株式1,056千株があります。

## ● 執行役員 (2024年6月27日現在)

執行役員	海野実	(シューズ事業部長)
執行役員	金田浩次	(車輻資材事業部長兼車輻資材販売部長)
執行役員	柏瀬功繁	(建築事業部長)
執行役員	中村公隆	(防災事業部長)
執行役員	吉田浩隆	(ウレタン事業部長)
執行役員	中野浩明	(断熱資材事業部長兼断熱資材販売部長)
執行役員	井上晋介	(工業資材事業部長兼工業資材販売部長)
執行役員	黒上登志也	(プラスチック製造本部長)
執行役員	大松越也	(産業資材製造本部長兼工業資材工場長)
執行役員	佐藤光弘	(関西支社長)
執行役員	小市藤弘	(購買部長)
執行役員	河原宗一	(人事総務部長)
執行役員	石原雅一	(コンプライアンス本部長兼法務課長兼コンプライアンス推進室長)
執行役員	小林俊二	(研究開発本部長)
執行役員	小石原一	(安全環境担当兼物流改革担当兼製造管理本部長)
執行役員	松宮喬	(滋賀地区製造担当兼製造管理副本部長)
執行役員	松宮稔	(情報システム部長)

## ● 大株主 (2024年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,534	10.73
東京アキレス協和会	824	5.76
株式会社みずほ銀行	663	4.64
大阪アキレス協和会	547	3.83
足利アキレス協和会	545	3.81
朝日生命保険相互会社	431	3.02
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	368	2.57
株式会社足利銀行	343	2.40
セコム損害保険株式会社	315	2.20
損害保険ジャパン株式会社	234	1.64

注記 上記のほか、当社保有の自己株式1,056千株があり、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	3月31日
	中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会	6月中
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

公告方法 電子公告 (<https://www.achilles.jp>)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

## 株式事務のお問い合わせ先

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナンバーのお届出など	お取引の証券会社等	みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類について	右記みずほ信託銀行	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)について	お取引の証券会社等または右記みずほ信託銀行	ホームページ <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a>
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主様は、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

アキレス株式会社

〒169-8885  
東京都新宿区北新宿二丁目21番1号  
新宿フロントタワー  
<https://www.achilles.jp>

